

【表紙】

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 近畿財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年9月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第27期第3四半期（自平成24年5月1日至平成24年7月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社神戸物産 |
| 【英訳名】 | KOBE BUSSAN CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 沼田 博和 |
| 【本店の所在の場所】 | 兵庫県加古郡稲美町中一色883番地 |
| 【電話番号】 | (079)496-6610 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役兼経営企画部門 部門長 矢合 康浩 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 兵庫県加古郡稲美町中一色876-1 |
| 【電話番号】 | (079)496-6610 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役兼経営企画部門 部門長 矢合 康浩 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第26期 第3四半期連結 累計期間 | 第27期 第3四半期連結 累計期間 | 第26期 |
|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年11月1日 至平成23年7月31日 | 自平成23年11月1日 至平成24年7月31日 | 自平成22年11月1日 至平成23年10月31日 |
| 売上高 (千円) | 112,970,046 | 118,369,732 | 150,682,056 |
| 経常利益 (千円) | 3,062,613 | 3,666,704 | 3,581,695 |
| 四半期(当期)純利益 (千円) | 1,579,861 | 1,843,305 | 1,754,515 |
| 四半期包括利益又は 包括利益 (千円) | 1,515,137 | 1,846,619 | 1,654,991 |
| 純資産額 (千円) | 13,751,170 | 15,391,889 | 13,891,024 |
| 総資産額 (千円) | 47,856,771 | 54,935,253 | 48,473,989 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円) | 201.21 | 235.39 | 223.61 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額(円) | | | |
| 自己資本比率 (%) | 28.7 | 28.0 | 28.7 |

| 回次 | 第26期 第3四半期連結 会計期間 | 第27期 第3四半期連結 会計期間 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年5月1日 至平成23年7月31日 | 自平成24年5月1日 至平成24年7月31日 |
| 1株当たり四半期 純利益金額 (円) | 40.08 | 65.14 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含んでおりません。
3. 第26期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理をしております。
4. 第26期第3四半期連結累計期間及び第26期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第27期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式がないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

| 名称 | 住所 | 資本金 (百万 円) | 主要な事業の内容 | 議決権の所有割合 (%) | 関係内容 |
|-----------------------|--------------|------------------|----------|-----------------|-----------------------------|
| (連結子会社) 珈琲まめ工房株式会社 | 岡山県岡山市 北区 | 9 | 業務スーパー事業 | 100 | 役員の兼任1名 当社向け加工品等 の製造等 |

(注) 主要な事業の内容の欄には、セグメントの名称を記載しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要により、国内景気は緩やかに回復傾向にあるものの、長引く欧州債務危機や電力供給に対する不安等により、依然として先行きが不透明な状況で推移致しました。食品業界においても、消費者の食への安全・安心志向に加え、低価格志向が依然として続く等、引き続き厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中、当社グループは引き続き原材料の生産から加工・流通・販売までを一貫して行う「第6次産業『真』の製販一体」というグループ目標を達成するため、岡山県に連結子会社として設立した㈱グリーンポーターリーにおいて、生鳥の飼育から生産・加工・販売に取り組むことを決定し、鏡野町との企業立地協定を締結致しました。地域雇用を活性化し、また環境対策を考慮するエコロジーの考え方を重視した循環型農業の実践に取り組んでまいります。これら国内外の農畜産事業の強化、「安全・安心」を徹底するための商品管理、消費者ニーズを捉えたオリジナル商品の製造に注力し、ムダ、ロス、非効率を徹底的に排除したローコストオペレーションの実践により、高品質で魅力のある商品をベストプライスで御提供できるよう努めてまいりました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,183億69百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は34億95百万円（同13.7%増）、経常利益は36億66百万円（同19.7%増）、四半期純利益は18億43百万円（同16.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

業務スーパー事業

当第3四半期連結累計期間における出店状況は、新規出店が37店舗、退店が7店舗、純増30店舗であり、総店舗数606店舗を達成いたしました。試食販売を実施する等、業務スーパーの商品の独自性と活用法を積極的に提案し、販路拡大に努める一方で、物件情報の収集、加盟店への情報提供に注力し、出店計画を進めてまいりました。

以上の結果、業務スーパー事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は1,170億44百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

神戸クック事業

当第3四半期連結累計期間における出店状況につきましては、「神戸クックワールドビュッフェ」の新規出店が1店舗あり総店舗数は13店舗となりました。また、「Green's K鉄板ビュッフェ」につきましては、新規出店が7店舗、退店が1店舗あり、総店舗数は14店舗となりました。中食・外食事業を展開する神戸クックにおいては、オリジナリティあふれる新たな店舗づくりを創造し、「食」と「アート」を融合させた産学連携プロジェクトの取り組みを開始しました。芸術学生製作の油絵を展示することにより「食」と「アート」をコラボレーションさせた店舗づくりを実施し、今後も事業拡大に同プロジェクトを推進してまいります。

以上の結果、神戸クック事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は13億24百万円（前年同期比46.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は549億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億61百万円増加しました。資産の増加は、流動資産の増加44億19百万円及び固定資産の増加20億41百万円であります。流動資産の増加の主なものは現金及び預金の増加32億66百万円、売掛金の増加4億19百万円などであります。固定資産の増加の主なものは有形固定資産の増加20億60百万円などであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ49億60百万円増加しておりますが、その主なものは、長期借入金41億57百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は153億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億円増加しました。

純資産の増加の主なものは、利益剰余金の増加14億90百万円であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 32,000,000 |
| 計 | 32,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行 数(株) (平成24年7月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年9月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 8,800,000 | 8,800,000 | 大阪証券取引所 (市場第二部) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 8,800,000 | 8,800,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数(株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額(千円) | 資本準備金 残高(千円) |
|--------------------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成24年5月1日～ 平成24年7月31日 | | 8,800,000 | | 64,000 | | |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年4月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年7月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 969,200 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 7,830,300 | 78,303 | - |
| 単元未満株式 | | 500 | - |
| 発行済株式総数 | 8,800,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 78,303 | - |

【自己株式等】

平成24年7月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数(株) | 他人名義所有 株式数(株) | 所有株式数 の合計(株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|----------------------|-----------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社神戸物産 | 兵庫県加古郡稲美 町中一色883番地 | 969,200 | - | 969,200 | 11.01 |
| 計 | - | 969,200 | - | 969,200 | 11.01 |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

| 役職名 | 氏名 | 退任年月日 |
|------------|-------|------------|
| 代表取締役会長兼社長 | 沼田 昭二 | 平成24年2月17日 |

(2) 役職の異動

| 新役職名 | 旧役職名 | 氏名 | 異動年月日 |
|----------------------------|------------------------|-------|------------|
| 代表取締役社長兼 STB生産部門長 | 取締役STB生産部門長 | 沼田 博和 | 平成24年2月17日 |
| 代表取締役副社長兼 経営管理システム部門長 | 取締役副社長兼 経営管理システム部門長 | 田中 康弘 | 平成24年2月17日 |
| 代表取締役社長 | 代表取締役社長兼 STB生産部門長 | 沼田 博和 | 平成24年6月15日 |
| 取締役STB開発部門担当兼 STB工場部門担当 | 取締役STB生産部門担当 | 浅見 一夫 | 平成24年6月15日 |

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年5月1日から平成24年7月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年11月1日から平成24年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年10月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年7月31日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 24,016,191 | 27,283,128 |
| 売掛金 | 7,442,593 | 7,861,859 |
| 商品及び製品 | 3,730,992 | 3,845,287 |
| 仕掛品 | 381,228 | 628,596 |
| 原材料及び貯蔵品 | 438,969 | 574,903 |
| その他 | 604,921 | 848,049 |
| 貸倒引当金 | 2,663 | 10,045 |
| 流動資産合計 | 36,612,232 | 41,031,780 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,828,462 | 4,341,312 |
| 土地 | 4,197,202 | 5,040,224 |
| その他(純額) | 2,262,818 | 2,967,883 |
| 有形固定資産合計 | 10,288,483 | 12,349,420 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 334,535 | 366,226 |
| 無形固定資産合計 | 334,535 | 366,226 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,241,259 | 1,246,697 |
| 貸倒引当金 | 2,521 | 58,872 |
| 投資その他の資産合計 | 1,238,738 | 1,187,825 |
| 固定資産合計 | 11,861,757 | 13,903,472 |
| 資産合計 | 48,473,989 | 54,935,253 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年10月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年7月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 11,483,321 | 11,805,049 |
| 短期借入金 | 456,741 | 457,696 |
| 未払法人税等 | 875,799 | 994,976 |
| 賞与引当金 | 75,554 | 48,441 |
| その他 | 1,130,090 | 1,323,104 |
| 流動負債合計 | 14,021,507 | 14,629,268 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 16,673,677 | 20,831,121 |
| 退職給付引当金 | 76,700 | 87,500 |
| 資産除去債務 | - | 94,114 |
| 預り保証金 | 3,772,950 | 3,832,450 |
| その他 | 38,130 | 68,909 |
| 固定負債合計 | 20,561,458 | 24,914,095 |
| 負債合計 | 34,582,965 | 39,543,364 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 64,000 | 64,000 |
| 資本剰余金 | 8,196,144 | 8,196,144 |
| 利益剰余金 | 7,384,014 | 8,874,932 |
| 自己株式 | 1,083,184 | 1,083,271 |
| 株主資本合計 | 14,560,973 | 16,051,804 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 669,949 | 666,635 |
| その他の包括利益累計額合計 | 669,949 | 666,635 |
| 新株予約権 | - | 6,719 |
| 純資産合計 | 13,891,024 | 15,391,889 |
| 負債純資産合計 | 48,473,989 | 54,935,253 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 112,970,046 | 118,369,732 |
| 売上原価 | 105,761,599 | 109,936,567 |
| 売上総利益 | 7,208,447 | 8,433,164 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,133,198 | 4,937,363 |
| 営業利益 | 3,075,249 | 3,495,801 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 43,287 | 26,014 |
| 受取配当金 | 146 | 5 |
| 持分法による投資利益 | - | 1,820 |
| 受取賃貸料 | 77,031 | 62,061 |
| 補助金収入 | 49,957 | 126,657 |
| 為替差益 | - | 217,056 |
| その他 | 87,249 | 158,746 |
| 営業外収益合計 | 257,672 | 592,362 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 129,903 | 174,239 |
| 持分法による投資損失 | 288 | - |
| 賃貸収入原価 | 67,609 | 59,175 |
| 為替差損 | 12,683 | - |
| デリバティブ評価損 | - | 52,670 |
| その他 | 59,823 | 135,374 |
| 営業外費用合計 | 270,308 | 421,459 |
| 経常利益 | 3,062,613 | 3,666,704 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,635 | 8,924 |
| 貸倒引当金戻入額 | 72,755 | - |
| 為替換算調整勘定取崩額 | 20,698 | - |
| 投資有価証券売却益 | - | 1,080 |
| その他 | 5 | - |
| 特別利益合計 | 96,095 | 10,004 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 30,444 | 18,024 |
| 固定資産売却損 | 30,180 | 1,637 |
| 減損損失 | 211,279 | - |
| 特別損失合計 | 271,904 | 19,661 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,886,803 | 3,657,047 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,269,546 | 1,754,453 |
| 法人税等調整額 | 37,395 | 59,289 |
| 法人税等合計 | 1,306,942 | 1,813,742 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,579,861 | 1,843,305 |
| 四半期純利益 | 1,579,861 | 1,843,305 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,579,861 | 1,843,305 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 64,724 | 3,314 |
| その他の包括利益合計 | 64,724 | 3,314 |
| 四半期包括利益 | 1,515,137 | 1,846,619 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,515,137 | 1,846,619 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

| |
|--|
| 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日) |
| (1) 連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、株式会社グリーンポトリーを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。 また、第2四半期連結会計期間より、珈琲まめ工房株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。 |
| (2) 持分法適用の範囲の重要な変更 該当事項はありません。 |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年7月31日)
該当事項はありません。

【追加情報】

| |
|--|
| 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日) |
|-----------|--|--|
| 減価償却費 | 655,951千円 | 1,052,838千円 |
| のれんの償却額 | 34,884千円 | -千円 |
| 負ののれんの償却額 | 13,669千円 | 1,500千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年11月1日至平成23年7月31日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|-------------|------------|-------|
| 平成23年1月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 318,508 | 40 | 平成22年10月31日 | 平成23年1月28日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年7月31日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|-------------|------------|-------|
| 平成24年1月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 352,387 | 45 | 平成23年10月31日 | 平成24年1月30日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------------------|
| | 業務スー パー事業 | 神戸クック 事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 112,065,738 | 904,307 | 112,970,046 | 112,970,046 | - | 112,970,046 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 705,986 | - | 705,986 | 705,986 | 705,986 | - |
| 計 | 112,771,725 | 904,307 | 113,676,032 | 113,676,032 | 705,986 | 112,970,046 |
| セグメント利益又は損失() | 3,980,351 | 35,417 | 3,944,934 | 3,944,934 | 869,685 | 3,075,249 |

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額 869,685千円は各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分されない「賃貸資産」に係る減損損失を211,279千円計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------------------|
| | 業務スー パー事業 | 神戸クック 事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 117,044,852 | 1,324,880 | 118,369,732 | 118,369,732 | - | 118,369,732 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,031,705 | 5,453 | 1,037,159 | 1,037,159 | 1,037,159 | - |
| 計 | 118,076,557 | 1,330,333 | 119,406,891 | 119,406,891 | 1,037,159 | 118,369,732 |
| セグメント利益又は損失() | 4,626,434 | 128,515 | 4,497,919 | 4,497,919 | 1,002,118 | 3,495,801 |

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額 1,002,118千円は各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 201円21銭 | 235円39銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 1,579,861 | 1,843,305 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 1,579,861 | 1,843,305 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 7,851 | 7,830 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | - |

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年9月14日

株式会社神戸物産
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村 文彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 藤井 睦裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社神戸物産の平成23年11月1日から平成24年10月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年5月1日から平成24年7月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年11月1日から平成24年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社神戸物産及び連結子会社の平成24年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。